競技注意事項

1　競技規則について

（1）本大会は、２０２６年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

（2）引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の職員とする。個人の場合は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第 22 条の 2 に示された者）も可とする。

（3）監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

2　競技者の招集について

（1）競技者招集所は、競技場メインスタンド下雨天練習場に設置する。

（2）招集完了時刻は、下記の通りとする。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	４０分前	２０分前
トラック（混成競技）	２０分前	１０分前
フィールド競技	９０分前	６０分前
フィールド（混成競技）	４０分前	１０分前

（3）招集完了時刻に遅れた者は当該競技種目を棄権したものとみなす。

（4）招集の手順

①競技者または代理人が招集所の競技者係から確認（招集）を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類・持ち物等の確認を受ける。また、各競技の場所で最終点呼を受ける。

②代理人による最終点呼は認めない。ただし、２種目を兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

③棄権する競技者は、棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時間までに招集所に提出すること。

④選手変更をする学校は、選手変更届（本部に準備）に記入し、本部にて受付印（総務）をもらい、招集所に提出すること。

⑤リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集開始時刻の１時間前までに招集所にオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。オーダー用紙提出後の変更はできない。怪我等の特別な理由がある場合は本部へ申し出る。本部が承諾した場合は変更を認めることがある。なお、招集時間完了後は変更できない。

⑥リレーのエントリー以外からリレーに出場する場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

⑦混成競技の招集は、第１日目及び第２日目の最初の種目については、競技順序に記載の招集時刻通り、招集所で行う。２種目目以降は、現地で確認を受け競技役員の指示に従うこと。

3　アスリートビブスについて

（1）競技者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。

（2）跳躍競技の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

（3）トラック競技の出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、右腰やや後方につける。
腰ナンバーカードは競技終了後、速やかに競技者係に返却すること。

4　競技について

（1）走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。※順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では２cm、棒高跳では５cm

走高跳	男子	1m50（練習） 1m80（練習）	1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m83（以降 3cm 刻み）
	女子	1m20（練習） 1m35（練習）	1m20-1m25-1m30-1m35-1m40-1m43（以降 3cm 刻み）
混成 走高跳	男子	1m25（練習）	1m30-1m35（5cm 刻み）1m65-1m70-1m73（以降 3cm 刻み）
	女子	1m10（練習）	1m10-1m15（5cm 刻み）1m35-1m40-1m43（以降 3cm 刻み）
棒高跳	男子	2m40（練習） 3m00（練習）	2m40-2m70-3m00-3m20-3m40-3m60-3m70（以降 10cm 刻み）
	女子	2m40（練習）	2m20-2m40-2m50（以降 10cm 刻み）

（2）当該競技に参加する競技者以外、競技場内に立ち入らないこと

（3）スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目及び跳躍種目（走高跳除く）は９㎜以下、走高跳及びやり投は１２㎜以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。

３０００ｍＳＣに出場する選手は、必ずスパイクを履いて参加すること。

（4）トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

（5）長距離・競歩種目については、気象状況により給水を設けることがある。

（6）4×400ｍリレーの第３・４走者は、競技役員の指示に従い前走者が 200ｍスタート地点を通過した順位で、内側から並んで待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。

（7）リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。

（8）ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、ＣＤプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。

（9）投擲競技者や跳躍競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備する。

(10) 次の種目は制限時間を設ける。

男子 5000mW…５０分　女子 5000mW…５０分

5　競技の抽選ならびに番組編成について

（1）　トラック競技の準決勝・決勝については、番組編成係において公平に組合せ、レーン順を決め速報サイトに掲載をし、招集所にて確認する。

（2）トラック競技においてプラス出場者を決める時、その最下位で同タイム者が出た場合は下記の方法で決める。

・100m、200m、400m、800m、100mH、110mH、400mH、4×100mR、4×400mR

同タイム者については、写真判定を拡大し、着差ありの判定をする。それでも判定できないときは、本人又は代理人によって抽選する。

・1500m

同タイム者は次のラウンドに進める。

（3）写真判定装置不作動の場合は、その種目の当該ラウンド全組を手動計時に変え着順優先で決定する。

6　競技用具について

（1）　この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。

（2）　棒高跳用ポールは個人持参の物の使用を認める。男女やりについては、個人持参の物を主催者で検査のうえ使用を認める。ただし共通使用とする。

（3）　検査は、用器具倉庫（１００ｍスタート地点）にて招集完了１時間前から行う。

7　フィールド種目の計測ライン及び計測方法・決勝試技について

（1）フィールド種目の計測ラインについては、特に設けない。

（2）投擲種目については、１㎝きざみで計測する。

（3）投擲・跳躍種目での決勝ラウンド試技順序は、記録の低い者から実施する。

8　その他

（1）開会式・閉会式は行わない。

（2）各種目の表彰式は実施する。表彰を受ける生徒の待機場所は雨天練習場とする。

（3）雨天練習場での練習は禁止とする。

（4）トラック種目の競技開始２０分前までは本競技場に練習用ハードルを設置し、使用を許可する。

○　ハードルの設置レーンは以下のとおりである。

・ホームストレート　５～６レーン　女子 100mH

・ホームストレート　７～８レーン　男子 110mH

・第１コーナー　　７レーン　　女子 400mH

・第１コーナー　　８レーン　　男子 400mH

（5）生徒が競技場に出入りする場合は１００ｍスタート付近と１００ｍゴール付近、男子更衣室横通用口の３カ所のみとする。（正面玄関は通行できない）

（6）７項については気象状況により変更することもある。

（7）投擲競技に出場する選手は、役員の指示に従い、事故防止に留意すること。

（8）予選がなくなった場合には、決勝の時刻に決勝のレースを行う。

（9）フィールド競技を行っている際は、その付近での応援は禁止する。

(10) 大会期間中競技場で生じた傷害や疾病は医務室で応急処置を行う。

(11) 高体連の規定により、引率教師のない学校の出場を認めない。

(12) 種目得点は、1 位が 8 点・・・8 位が 1 点とする。

(13) 横断幕については、バックスタンド上段フェンス及びサイド芝生上段フェンスに設置すること。競技場内下段のフェンス及びメインスタンド前面には設置できない。

(14) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。

(15) 県大会出場資格

・各種目上位５位までとリレー種目５位まで

○　以下の種目については４位までとする。

・男子８種競技、女子７種競技　・女子棒高跳